

地域再生計画

1. 地域再生計画の名称

なりわい
生業と文化あふれるまちづくり計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

新潟県、上越市

3. 地域再生計画の区域

上越市の全域

4. 地域再生計画の目標

上越市は、新潟県の南西部に位置し、平成17年1月1日に周辺13町村と合併し人口約21万人、面積972km²となった。

当市は、工業や商業が集積する旧高田、直江津地区の市街地、頸城平野の田園地区、そして長野県と県境を接する中山間地域から形成されており、合併に伴い地域間のアクセス道の整備が急務となっている。

このため地域間を結ぶ市道及び林道の効率的な整備により、市街地・田園地域・中山間地域の各エリア間の人や物（水産物、農産物、林産物）の流通を活性化させ、同時に観光施設である「くわどり湯ったり村」、「坊ヶ池湖畔公園」等の利用者の増加と中山間地域の森林保育管理面積の増加を図りたい。

それに伴い海、山、大地の個性あふれる生き生きとした生業が、地域に満ち活気あふれる心豊かな地域を実現したい。また快適な生活環境と豊かな自然環境の中で豊かな心を持つことにより、魅力ある町づくりを実現し訪れる人を満足させる、もてなしの文化あふれるまちづくりにより地域の再生を実現したい。

（目標1）観光施設の利用者5%増加。

（目標2）森林保育、管理面積の5%増加。

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

森林資源を利用した施設を結ぶ坊金高山線などの林道は、急勾配で未舗装の箇所が多く、施設利用者の安全な通行を確保するため早期の整備が求められている。

さらには、林道南葉高原線などの林道の開設を行うことにより、市街地と田園地域や中山間地域を結ぶ安全で安心な道ネットワークが構築されることにより、観光や田舎体験及び森林体験等の地域間交流が促進され、地域資源が生かされる事により、地域振興を促進する。

また、地域間を連結する重要路線「市道水科線」などを地域のネットワークを

構成する林道と共に整備し、観光施設へのアクセス時間の短縮を図ると共に、平成16年の中越大震災のような将来の災害に対しても、隣接する他市の路線と今回整備する路線を接続することにより、迂回ルートの確保など災害に強い道路網を構築することが出来る。

それにより利用者に対し利便性、安全性、快適性を満足してもらおうと共に、上越地域固有の生業ともてなしの文化について理解を深めてもらい、訪れる人々が住んでみたいと思えるまちづくりを目指す。

5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

対象なる事業は、別添資料4の整備路線一覧表とおり事業開始に係る手続き等を了している。

なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

道整備交付金を活用する事業

- ・事業主体 : 市道 上越市
 : 林道 新潟県、上越市
- ・施設の種類 : 市道
 : 林道
- ・事業区域 : 市道 上越市
 : 林道 上越市
- ・事業期間 : 市道 平成17～21年度
 : 林道 平成17～21年度
- ・事業費 : 市道 2,178,900千円(うち交付金1,089,450千円)
 : 林道 685,280千円(うち交付金326,640千円)
- ・整備量 : 市道 6.7Km
 : 林道 13.1Km

5 - 3 その他の事業

- ・技能労働者育成支援事業
(地域の産業を支える技能労働者の職業訓練を実施する団体等に対して、訓練費の補助を行う。)
- ・大型観光案内看板整備事業
(既存看板の張り替えと市域の拡大に対応した新規案内看板を設置する。)
- ・観光施設整備事業
(自然、歴史、食、温泉等をいかした観光施設の整備を進める。)

6 . 計画期間

平成17年度～21年度

7 . 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、新潟県と上越市で4に示す数値目標に照らし状況を調査する。また事業の見直しを図るため上越市で評価・検討を行う。

8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項
該当なし